

令和 7 年 8 月 20 日

「第 5 回（最終回）障がい者活躍推進ワーキングチーム」会合を開催
～ 最終報告書の内容についての討議を行いました ～

（一社）日本物流団体連合会（略称：物流連）は、8 月 18 日（月）、東京都千代田区的全日通霞が関ビルにおいて、最終回となる「第 5 回 障がい者活躍推進ワーキングチーム（座長：東京女子大学 二村真理子教授）」会合を開催しました。

同ワーキングチームは、物流業界の人材不足等の課題解決へ向けたダイバーシティ推進の一環として、また企業の社会的責任（CSR）を果たすうえでも今後ますます障がい者の活躍の推進が望まれることから、物流業界における障がい者雇用の現状と課題を調査し、障がい者の活躍推進について検討する目的で、昨年 9 月に物流連の経営効率化委員会のもとに設置されたもので、物流連会員企業・団体から 16 名が委員として参加しています。

最終回となる今回は、昨年 10 月の第 1 回ワーキングチーム会合以降、各種のアンケート調査や講演会の実施、その後 3 回の会合を通じ、約 9 カ月間にわたって調査検討してきた内容を最終報告書としてとりまとめるため、事務局が作成した報告書案について委員メンバーで討議を行いました。会合では、座長を中心として参加した委員全員で活発な意見交換が行われ、さまざまな角度から改善点や指摘事項、記載方法のアイデア等が挙がりました。

今後、今回の会合で挙げたさまざまな意見等を可能な限り報告書に反映させることで、より充実した内容にしていくこととなりました。

物流連では今後もさまざまな活動を通じ、ダイバーシティや CSR 推進の取り組みを進めてまいります。

以 上
事務局 中野



座長の二村教授



全体風景